



研修会参加報告

図書委員会の夏の活動

8月8日(水)、ホルトホール大分で第53回大分県高等学校図書委員研修会が行われました。日出総合高校からは1年3組の副田愛さん、3年2組の渡部龍汰さん、3年4組の有田祐美子さんが参加しました。

午前中の開会行事では日田三隈高校、国東高校&双国校による図書館活動報告がありました。新聞発行、特設コーナー設置、文化祭参加、ビブリオバトル開催など、利用者を増やし読書活動を推進するために様々な工夫をしていることがわかりました。

開会行事終了後、3つの分科会で読書会やビブリオバトルが行われました。原田マハ『生きるぼくら』と小林照幸『車いす犬ラッキー 捨てられた命と生きる』の各読書会では、司会を担当した芸術緑丘高校、安心院高校の図書委員の配慮と工夫で、談笑しながら意見交換ができました。ビブリオバトルには副田愛さんがバトラー(発表者)として参加し、ステファニー・メイヤー『トワイライト』をおすすめ本として紹介しました。惜しくも入賞は逃しましたが、参加者からは「主人公のツンデレなやりとりにキュンキュンしている感が伝わった」「内容が頭に入りやすかった。時間配分は完璧」など好印象のコメントが多く寄せられました。

午後は技術講座とビブリオバトルが行われ、技術講座ではブックカバーを作成しました。ビブリオバトルには、渡部龍汰さんがオーディエンス(聴衆)兼審査員として参加しました。

閉会行事ではビブリオバトル入賞者2名によるチャンプ本の紹介がありました。ビブリオバトルのチャンプ本は、午前の部が古野まほろ『セーラー服と黙示録』、午後の部が三秋雫『三日間の幸福』でした。

学校図書委員研修会





参加した図書委員の感想

「読書会では意見交換をすることができ、貴重な経験になりました。学校でも少しでもいいのでブックカバーを作りたい」

「読書会の班で進行を担当したり、メンバーの意見をまとめたり、普段の生活ではできないことが体験できて楽しかったです。ビブリオバトルでは、たくさんの作品を知ることができ、バトラー（発表者）の本への思いが伝わってきて凄いと感心しました」

「国東高校本校では読書週間行事や読書会、オススメの本の紹介など生徒中心の図書館活動が行われていて、日出総合高校でも取り入れたいと思いました。ビブリオバトルでは、バトラーが工夫をして、とても上手に本の紹介ができていたと思いました。自分の発表については、すこしあわてたせいか早口になり、言いたいことがまとまらなかったところが反省点です」

寄贈図書のお知らせ

2018年7月30日の大分合同新聞で紹介された『楽しいウソは笑顔を作る』の寄贈がありました。貸し出しの準備ができましたのでお知らせします。ある時は自称美術評論家、またある時は庭師、研ぎ師を騙(かた)る、うそをついた時の笑い話を綴ったエッセイ集です。

著者の矢野武久さんは、昭和33(1958)年に日出高校を卒業し、現在は埼玉県在住です。



文豪ストレイドッグス×豊の国情報ライブラリー コラボ企画 イラスト募集

テーマ「みんなが考えるオリジナル異能力」

「もしも文豪ストレイドッグスのキャラクターたちが、新しい異能力を手に入れたら…」をテーマにイラストを募集します。それぞれの文豪の著作名を使って、みなさんの想像するオリジナルの異能力を、イラストや文章で自由に表現してください。

(文章のみでも応募可)

① 応募&問い合わせ先：大分県教育庁文化課 教育文化班

② 応募締切：2018年10月31日(水) 必着

イラスト募集のお知らせは、大分県教育委員会 HP に掲載されています。

詳しいことは大分県教育庁文化課 教育文化班におたずねください。